

令和7年第4回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、白井市出身の人気歌手で「しろいふるさと大使」の新浜レオンさんと酒井一圭さんの紅白歌合戦出場について申し上げます。

年末の歌の祭典「紅白歌合戦」に、「しろいふるさと大使」の新浜レオンさんと純烈リーダーの酒井一圭さんが出場します。

新浜レオンさんは2年連続、酒井一圭さんは8年連続の出場となります。昨年に続き、紅白出場の夢を実現されたことは、大変喜ばしいことです。皆さんも、ぜひテレビの前で声援を送っていただきたいと思います。

次に、「世界陸上に出場した守祐陽選手」について申し上げます。

9月13日に東京の国立競技場で行われた世界陸上に、白井市立七次台中学校の卒業生である守祐陽選手が男子100メートルの日本代表として出場しました。

市では、卒業校である七次台中学校のほか、多くの人が通る白井駅、西白井駅や市役所などに横断幕を設置し、守選手の活躍を、市を挙げて応援しました。予選2組で7着という結果ではありましたが、夢に向かって努力する姿勢に市民だけでなく全国の皆さんに勇気と感動を与えてくれました。守選手は、私たち白井市民にとって大きな誇りです。

また、大会後の10月中旬には市役所を訪れていただきました。大会の報告やレース直前の心境をお話いただくとともに、2年後の世界陸上や3年後のオリンピックへの出場を目標にしていると伺うことができ、これからの活躍がとても楽しみにになりました。

守選手の今後のさらなる活躍を「オールしろい」で応援していきます。

次に、「全小中学校体育館等のエアコン整備」について申し上げます

市における小中学校体育館等のエアコン整備を、児童生徒等の教育環境向上のほか、災害時の避難生活に備えるためにも、第6次総合計画で重点施策に位置づける予定です。

具体的には、全ての小中学校体育館において災害時に発生が予測される停電時にも稼働できるエアコンを、出来る限り早く一斉設置するよう検討、指示していたところです。

このたび、財源の目途が立ったことから、全小中学校体育館と柔剣道場の合計19か所のエアコン整備に必要な予算を令和8年度当初予算として議会に提案した上で、令和9年2月の整備完了を目指して取り組んでまいります。できる限り早期の整備に努め、準備できた箇所から順次運用を開始することにより、教育環境等の向上及び市民の安全・安心の確保、いざという時への備えの強化を図ってまいります。

次に、保健福祉センタートレーニングルームのオープン日について申し上げます。

市が場所を貸し付け、民間事業者が運営を行う、保健福祉センタートレーニングルームについて、営業開始日等の詳細が決まりましたので報告します。

11月25日（火曜日）にシニア向け教室がオープンし、11月30日（日曜日）に子ども向け教室がオープンします。

シニア向け教室では、毎週火曜日から木曜日まで、50代以降の方に推奨する集団マットエクササイズを実施します。

リハビリ専門職監修の安心かつ質の高い内容と伺っております。また、子ども向け教室では、未就園児から高校生までを対象に毎週月曜日から土曜日まで、体操・体幹トレーニングを実施します。これまでの「健康増進ルーム」とは営業形態が異なりますが、民間のノウハウの活かしつつ、子どもから高齢者まで多くの方にご利用いただきたいと考えています。

なお、スタート段階では、シニアと子どもの皆さんを対象として、今後状況を見て対象範囲を拡大していくと伺っております

次に、包括連携協定を、新たに3件締結しましたので報告いたします。

1件目の、「印西市と白井市とのまちづくりに関する連携協定」について申し上げます。

印西市とは、相互の緊密な連携と協力のもと、それぞれの資源や特性を活かしながら、地域の課題に迅速かつ的確に対応し、住民サービスの向上及び地域の持続的な発展を図ることを目的に連携協定を締結いたしました。

具体的な取組としましては、子育て世代への対応として、より子育てしやすいまちを目指し、こども・子育て支援に係る施設を整備し共同利用を図ることを計画しており、その他にも「子育て支援 及び 教育振興」、「健康増進 及び 地域福祉向上」、「災害対策、防災、防犯 及び 交通安全」など、お互いの特性を活かしながら未来を見据えて連携してまいります。

2 件目の、「白井市と東京都市大学都市生活学部との包括連携協定」について申し上げます。

市は、東京都市大学都市生活学部との間において、相互に緊密な連携を強化し、様々な分野で包括的に連携・協力し、まちづくりや地域活性化等を図っていくため、包括連携に関する協定を締結しました。

具体的な取組として、市と大学と住民団体の三者が協力し、環境にやさしいグリーンスローモビリティを活用した新たな公共交通の実証実験を11月16日より実施しております。

グリーンスローモビリティは環境にやさしく、ゆっくりしたスピードで、安全性が高く、狭い道でも走りやすい特徴があります。

本活動を含め、東京都市大学都市生活学部と連携することにより、双方の資源、ノウハウを有効に活用し、さらに住みよいまちづくりに向けた取り組みなど、市民サービスの向上を図ってまいります。

3 件目の、「白井市と千葉県印西警察署との包括連携協定」について申し上げます。

市は、多文化共生社会を目指し千葉県印西警察署との間において、日本人市民も外国人市民も安全・安心を実感できるくらしの実現を目指して、多文化共生社会の推進に関する包括的な連携協定を締結しました。

具体的な取組としては、防犯対策の取組の一環として、日本のルールやマナーを守ってもらうために地域日本語教室での出張講座や、駅周辺での合同パトロールの実施など、文化・習慣の違いから生じるトラブルを未然に防ぐための取り組みを検討しております。

千葉県印西警察署は、白井市の管轄署として、市役所内に警察署の分庁舎を設置しており、千葉県印西警察署との連携を一層深めることで、すべての市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進め、市民サービスの向上を図ってまいります。

これらの協定を契機として、さらに白井のまちを豊かな生活にできる環境づくりに取り組んでまいります。